

来週の「売り物」記事はこれ



2013年10月4日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

追跡 給食アレルギー事故

少女はなぜ死んだか

朝刊6日(日)



東京都調布市の小学校で昨年12月、小学5年の少女(当時11歳)がチーズ入りのチヂミを食べた直後に死亡する事故がありました。少女は乳製品のアレルギーの体質でした。そのことは学校も知っており、配慮していたはずでした。しかし、悲劇は起こりました。将来は科学者になりたいと、夢をふくらませていたといいます。安全なはずの学校でなぜ、少女は死ななくては



ならなかったのでしょうか——。食物アレルギーに悩む児童は全国で33万人にのぼります。取材を進めると、教育現場におけるアレルギー体質の児童への対応が自治体によってかなりの温度差があることが分かりました。少女の両親は話します。「娘の死を忘れないでほしい」と。とりもなおさず、その死をむだにしないでほしいという叫びでしょう。死亡事故の深層を追います。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

どうなっている？

40代女性と20代男性の「性と生」

夕刊2面特集ワイド 8日(火)、10日(木)



8日夕刊は、更年期を前にした40代女性について作家の甘糟りり子さん(49)とタレントの小島慶子さん(41)が対談。甘糟さんの新著「エストロゲン」を題材に、いったい女はいつまで女でいられるのか、閉経したら女でなくなるのかを考える。10日夕刊で取り上げるのは20代の男性の恋愛と性事情。草食男子と呼ばれる彼らは童貞であることを気にせず、ネットがあるから女性と付き合うのは面倒とか。本当なのか——。

「秋の花粉症」に気をつけて くらしナビ面8日(火)

最近、鼻水が止まらない——。そんな悩みを抱えている人は、もしかすると秋の草花による花粉症かもしれません。近ごろはスギ花粉症患者の増加によって、別の花粉にも反応して、秋に症状が出る人が増えています。秋の花粉症の特徴や自衛策、治療法などをまとめました。



「そして父になる」 是枝監督インタビュー

くらしナビ面9日（水）



日本の明るい近未来を描いた本紙連載「イマジン」（2012年12月～13年9月）。番外編として3回にわたり、インタビューを掲載します。1回目は映画「そして父になる」が公開中の是枝裕和監督＝写真。映画に込めた思いや、家族のかたち、人のつながりなどについて語っていただきました。2回目は半世紀以上にわたり福祉活動を続ける歌手で俳優の杉良太郎さん（10日）、3回目は事実婚や不妊治療を経て、卵子提供によって50歳で長男（2）を出産した衆院議員の野田聖子さん（11日）です。

「孫ごはん」作ってみませんか くらしナビ面13日（日）

共働きで忙しいパパやママに代わって、孫のご飯作りをするおじいちゃん、おばあちゃんが増えています。でも、「何を作れば孫が喜ぶのか分からない」「現代っ子が好きな料理は何？」と悩んでいる人も少なくないはず。料理研究家の本谷恵津子さんが、実体験を基に考えたメニューを紹介します。

